

**平成29年度 宮城県特別支援教育研究会知的障害教育専門部
第40回研究協議会(大崎大会) 第2次案内(最終)**

- 1 目的 県内各地の知的障害教育の現状及び諸問題について協議し、会員の資質の向上を図り本県の知的障害教育の推進と充実に資する。
- 2 主催 宮城県特別支援教育研究会知的障害教育専門部、大崎地区実行委員会
- 3 後援 宮城県教育委員会 大崎市教育委員会
- 4 主幹 大崎地区、宮城県立古川支援学校、宮城県立支援学校小牛田高等学園
- 5 期日 平成29年 8月 9日(水)
- 6 会場 大崎市岩出山文化会館「スコアハウス」
〒989-6411 大崎市岩出山船場2-1
- 7 対象 知的障害教育専門部会員(知的障害特別支援学級担当教員、及び知的障害特別支援学校教員)、その他 小・中学校教員等

8 日程

9:30	10:00		12:30	13:30	14:00		15:30	15:45
受付	分科会	昼食	開会行事	講演会	閉会行事			

※9:30より、各分科会関係者打合せ会実施。

9 分科会テーマと話題提供

- ・ 第1分科会 「子どものニーズにあわせた支援の在り方」
話題提供 仙台南地区 仙台市立鶴谷特別支援学校
- ・ 第2分科会 「様々な機関と連携した児童生徒・保護者への支援の在り方」
話題提供 仙台北地区 地区 宮城教育大学附属支援学校
- ・ 第3分科会 「一人一人の実態に応じた就学支援・進路支援の在り方」
話題提供 仙台市(小) 宮城県立支援学校岩沼高等学園
- ・ 第4分科会 「校内支援体制の在り方」
話題提供 栗原地区 いずみ高等支援学校

※分科会の内容については、別紙を参照ください。

- 10 講演会 ・演 題：「知的障害教育における自立活動」
・講 師：安藤 隆男氏 (国立大学法人筑波大学人間系教授)
- 11 参加費 無 料
- 12 その他 ・参加申し込みは、同封の参加申込書により行ってください。締切は7月20日(木)です。

13 問い合わせ先

宮城県特別支援教育研究会知的障害教育専門部事務局

(宮城県立光明支援学校小学部校舍内)

TEL : 022-376-8231 FAX : 022-376-8238

事務局長 川島 克友 (宮城県立光明支援学校 教頭)

主任 半澤 幸治 (宮城県立光明支援学校 教諭)

会場付近地図



おおさき わが街ガイドより引用

平成29年度 宮城県特別支援教育研究会 知的障害教育専門部 第40回研究協議会(大崎大会)分科会について

分科会	話題提供(学級)	話題提供(学校)	助言者
第1分科会 「児童生徒のニーズにあわせた支援の在り方」	名取市立高館小学校 教諭 山本 晴美 「特別支援学級から発信する交流及び共同学習の取組」	仙台市立鶴谷特別支援学校 教諭 菅生 美保, 神林 祐一, 大友 潮香 「児童生徒の「意欲」を引き出す指導の工夫」	宮城県総合教育センター 特別支援教育班 次長(指導主事) 庄子 信広
第2分科会 「様々な機関と連携した児童生徒・保護者への支援の在り方」	大和町立大和中学校 教諭 我妻 純子 「生徒の自立を促す支援の在り方」	宮城教育大学附属特別支援学校 教諭 川村 修弘 「特別支援学校のセンター的機能を生かした チームアプローチ —関係機関と連携を図った小・中学校における2事例—	大崎市立川渡小学校 教頭 渡邊 知子
第3分科会 「一人一人の実態に応じた就学支援・進路支援の在り方」	仙台市立高森小学校 教諭 相澤 悦子 「小学校から始める自立にむけた教育」	宮城県立支援学校岩沼高等学園 教諭 坂本 由佳 「一人一人の実態に応じた進路支援の在り方」	宮城県総合教育センター 特別支援教育班 次長(指導主事) 菅原 信治
第4分科会 「校内支援体制の在り方」	栗原市立築館小学校 教諭 菅原 容子 「気になる児童のスクリーニングをもとにした支援体制づくり」	いずみ高等支援学校 教諭 今野 令 「校内支援体制の在り方」 —進路実現に向けて—	宮城県教育庁 特別支援教育室 室長補佐(指導主事) 遠藤 浩一